

第1学舎旧1号館をARでよみがえらせます！

AR

AR (Augmented Reality) は「拡張現実」と訳され、現実の世界で人が感知できる情報に「何か別の情報」を加えて、現実を「拡張」表現する技術です。例えばスマホをかざすと、現在の風景の中に古代の建物や人々が現れたり、本物の文化財に解説が加わったり…。今回は、あすかの庭に旧1号館をよみがえらせてみます。

今回の催しは、2017年度関西大学創立130周年記念特別研究費(なにわ大阪研究)研究代表：橋寺知子
研究課題：「関西大学千里山キャンパスの景観変遷と可視化」の研究成果公表の一環として開催するものです。

第1学舎エリアは、千里山キャンパスの始まりの場所でもあり、また1955年には創立70周年を記念して、現・簡文館などの学舎群が村野藤吾の設計で建設されました。

今、「あすかの庭」として学生たちに親しまれている芝生の広場には旧1号館があり、そのイメージは人々の記憶に残っています。

現在、iPadを用いて、現在のあすかの庭の風景の中にARの技術を用いて懐かしい学舎をよみがえらせ、歴史の重層をリアルに体感できるアプリの制作を試みています。

また制作途中の段階ですが、今後のコンテンツの充実に向け、中間発表会として、さまざまな方に開発中のアプリを試していただきたいと考えています。

ぜひご参加ください。



関西大学千里山キャンパス なにわ大阪研究センター前
あすかの庭

2017
10/26 thu
14:00
15:00
15:00

観覧自由

の間ご覧いただけます。*雨天中止

ひきつづき15:00から「イケフェス大阪2017」キャンパスツアーも開催!
別途申込み要

生きた建築
ミューズ
イムバル
フェス大阪

LIVING
ARCHITECTURE
MUSEUM
FESTIVAL
OSAKA

2017

キャンパスツアー

「関西大学千里山キャンパスの建築をめぐる」

日時=10/26(木) 15時~17時 定員=30名 参加費=無料

案内人=橋寺知子(関西大学准教授)*授業等で使用中のため、内部に入れない学舎等もあります。

[申込方法] 往復ハガキもしくはEメールにて必要事項を記入の上、下記までお送りください。
10/10(火)必着です。1通につき、2名様まで。制限を超えて記載されている場合はお申し込みが無効になります。応募多数の場合は抽選。

必要事項 ①氏名(2名様まで) ②代表者の住所、電話番号

*往復はがきでのお申し込みの場合、返信面オモテには返信先住所、お名前をご記入ください。

送り先 [往復はがき] 〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

関西大学博物館事務局「イケフェスキャンパスツアー」係

[Eメール] hakubutsukan@m1.kandai.jp

千里山キャンパスには博物館(旧千里山図書館・1995年竣工)をはじめとし、30年にわたって村野藤吾が設計した建物が点在します。普段見過ごしてしまいそうな部分をご紹介します。